

強度行動障害研修を行いました

緑区自立支援連絡協議会 児童部会 2019/9/26

強度行動障害研修

緑区自立支援連絡協議会児童部会では、昨年度より行動障害、虐待について、学習を重ねています。これまで、グループに分かれての事例検討や名古屋市障害者虐待センターから講師をお呼びし、虐待について皆さんと学びました。

その流れから、今回は児童部会で強度行動障害の研修を企画し、9月20日に緑区で放課後等デイサービスあいぼ、生活介護あいぼ管理者の奥山氏に講師をお願いし、研修をおこないました。

自閉症、行動障害の方の基本的な考え方から、強度行動障害の定義や実践におけるポイントなど、具体的な場面の事例を挙げながらお話ししていただきました。



あいぼ 奥山氏

参加された方の感想

- ・「人をたたく」⇒「たたいた」だけを見て、表面だけでなく、なぜそれが起きたのか内面を見る大切さを学びました。
- ・社会的な気づきの段階での社会性については、勉強を深めたいと思いました。
- ・軽度の知的障害の利用者様が多いですが、エリア分けをするだけで「すごしやすくなった」という声を頂いています。今回の研修で理解ができた。
- ・他県から転入された利用者様のお母さまから、愛知県の構造化が遅れているという話をお聞きしたことがありましたが、今回の研修を受け、遅れている現状をはっきりと認識しました。

約30名の方が参加されました。みなさまお疲れさまでした。

